



おいしく たのしく すこやかに



森永製菓株式会社

NEWS RELEASE

2026年4月17日

森永製菓グループの温室効果ガス削減目標が

「SBT (Science Based Targets) Near-term・FLAG」認定を取得

森永製菓株式会社（東京都港区芝浦、代表取締役社長 COO・森 信也）は、森永製菓グループ（連結）の温室効果ガス削減目標について、国際的な機関である SBT イニシアチブ（SBTi）^{*1}より、2026年3月23日に科学的根拠に基づいた目標として認定を取得したことをお知らせします。



SBTiより認定された当社グループ（連結）の温室効果ガス削減目標は以下のとおりです。

【Near-term（短期）目標】

- スコープ 1^{*2}+2^{*3} : 2035年度までに温室効果ガス排出量を63.0%削減（2022年度比）
- スコープ 3^{*4} : 2035年度までに温室効果ガス排出量を37.5%削減（2022年度比）
- スコープ 3 FLAG^{*5} : 2035年度までに温室効果ガス排出量を45.5%削減（2022年度比）

当社グループでは、パーパス「世代を超えて愛されるすこやかな食を創造し続け、世界の人々の笑顔を未来につなぎます」のもと、重要課題（マテリアリティ）である「地球環境の保全」に取り組んでいます。当社グループは持続可能な社会の実現に向けて温室効果ガス削減に積極的に取り組んでまいります。

^{*1} SBT イニシアチブ（SBTi）とは、UNGC（国連グローバル・コンパクト）、CDP、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）が共同で設立した国際的な機関です。パリ協定の水準に整合する科学的根拠に基づいた温室効果ガス削減目標の設定を企業に促し、審査・認定を行っています。

^{*2} スコープ 1とは、事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼等）

^{*3} スコープ 2とは、他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う温室効果ガスの間接排出

^{*4} スコープ 3とは、購入した製品やサービス、輸送、販売した製品の使用・廃棄等に伴う温室効果ガスの間接排出

^{*5} FLAG（Forest, Land and Agriculture）とは、森林・土地・農業に由来する排出量であり、森林から農地への土地利用転換や土地利用に伴う温室効果ガス排出量を含みます。